

「背中で語る」 （知中生の皆さん・保護者の皆様へ）

校長 尾崎 淳一



先週のある朝、生徒会長が校長室を訪れました。目的は、21日に行う「知立市中学校交流大会選手壮行会」での挨拶の依頼です。私が「何分いただけますか」と尋ねると、「はい、2分です」との答えが返ってきました。おっ短いぞ、20分でも大丈夫だけれど……と思いましたが、そこは我慢して「2分」の挨拶を引き受けました。

せっかくのチャンスなので、「壮行会でどんな思いを伝えますか」と聞いてみました。すると、突然の質問に一瞬の沈黙の後、「コロナウイルスのために、いつものような大会ができずに辛い気持ちがあります。でも、交流大会に向けて、チームの仲間と力を合わせ、最後まで努力したいということです」ときっぱり答えてくれました。その表情は凛々〔りり〕しく、目は力強く輝いていました。短いやり取りでしたが、彼の正直な思いやこれまでの数えきれない努力、そして前向きな気持ちを感じ取ることができました。さすが伝統ある知立中学校の生徒会長、とても頼もしく立派でした！

さて、今回は3年生だけの選手壮行会となります。例年であれば、最後の大会に臨む決意を言葉で、目の前の後輩に伝えるところですが、それはできません。それでも、やがて部活動を引き継ぐ1・2年生に向けて、3年生の皆さんがメッセージを残してくれることを強く願います。方法はたった一つ、「背中で語る」ことです。大会までの残り五日間、これまで以上に仲間を大切に、部活動に取り組む一生懸命な姿を期待しています。これこそが、1・2年生に限らず、仲間や家族、これまでお世話になった方々に向けて「背中で語る」強烈なメッセージです。そして、勝敗を越えた価値あるものと、私は考えます。



【先輩は背中で語る】

1・2年生の皆さんは先輩の背中を目に焼き付け、知立中学校の伝統を受け継ぎ、次は自分たちが輝く準備と覚悟をしておいてくださいね。「チーム知立中、ファイト！」

今年の梅雨は晴れ間がとても少なく、すっきりしない日々が続いております。保護者の皆様におかれましては、変わりなくお過ごしでしょうか。

学校での子どもたちは、知中生としてのプライドをもち、仲間と共に勉強に運動にとってもよく努力しています。もちろん、うまくいかないこともあり、心や身体が疲れてしまうこともあるでしょう。そんな時、明るく温かな御家庭・御家族が、元気回復の源となっています。日頃のお子様への声掛け等に、心より感謝を申し上げます。

ニュースではコロナウイルス感染者の激増が伝えられ、今後の動向が気になります。学校においては、これまでと同様に感染防止対策を徹底すると共に、生徒が安心安全な生活への意識を高められるよう指導してまいります。御承知いただければ幸いです。

多くの運動部の集大成となる交流大会も、今週末に迫ってまいりました。知中生が怪我や病気なく、十分に力を発揮できることを願うばかりです。大会の応援につきましては、保護者の皆様にもご不便をお掛けしますが、円滑な大会運営に向けて御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(令和2年7月20日)